

氏名	畔上 光代	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	老年看護学,多職種連携				
学位	修士（看護学）				
学歴	埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科、順天堂大学大学院医療看護学研究科博士前期課程				
経歴	2012年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助教				
所属学会（役職）	日本老年看護学会,日本保健医療福祉連携教育学会,日本看護科学学会,日本認知症ケア学会,SPU学会				

【2021年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	都市部の診療所看護師が有するコンピテンシーとその構造	共著	あり	宮城大学研究ジャーナル、1(2)、36-45	國澤尚子,丸山優,畔上光代,水間夏子,辻玲子,大塚真理子	2021.9
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	一人暮らし高齢者の日常生活と睡眠の実態-シート型体振動計を用いて-	共同		日本老年看護学会第26回学術集会、Web開催	林裕栄、久保田富夫、武田美津代、新村洋未、畔上光代、滑川道人、三塩操	2021.6
2	認知症の人とその家族を支援する専門職の連携実践能力-B町の在宅サービス関連施設等の職員調査から-	共同		日本認知症ケア学会第22回大会、Web開催	桂晶子、成澤健、出貝裕子、中込詩織、萩原潤、徳永しほ、国澤尚子、丸山優、畔上光代、大塚真理子	2021.6
3	人生の最終段階に向けた医療・ケアの意志決定に関する住民調査 埼玉県A市における横断的調査の結果から	共同		日本エンドオブライフケア学会第4回学術集会、Web開催	山口乃生子、會田みゆき、山岸直子、畔上光代、河村ちひろ、星野純子、浅川泰宏、佐瀬恵理子、島田千穂	2021.9
4	コロナ禍における一人暮らしの在宅高齢者の睡眠の見守りと訪問支援の検討	共同		日本睡眠学会第46回定期学術集会、ハイブリッド開催	久保田富夫、林裕栄、武田美津代、新村洋未、畔上光代、水間夏子、滑川道人、三塩操	2021.9
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		地域資源を活用した住民による家族参加型アドバンス・ケア・プランニング研修の効果	研究分担者	2020.4-2023.3	
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究B）		認知症高齢者と家族の質の高い継続的な暮らしを目指した研修の社会実装と評価	研究協力者	2018.4-2022.3	
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		高齢者の外反母趾・浮き趾による転倒予防のためのエビデンスに基づく看護介入の効果	研究分担者	2021.4-2024.3	
4	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		高齢入院患者のmobilityを促進する急性治療期の看護実践プロトコルの開発	研究協力者	2021.4-2024.3	
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	該当なし					

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	老年看護学Ⅱ		4	移動能力が低下した高齢者への援助について感染予防に努めながら学内演習を実施した。
2	老年看護学Ⅲ	○	15	2019カリ初年度であり、老年看護過程の授業として新たに立案した。認知症を持ちながらも疾患の治療とリハビリが必要な高齢者の看護過程の展開を学修できる内容とした。
3	老年看護学Ⅳ		2	グループワークにおけるファシリテーションを行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	老年看護学実習Ⅰ		2021.4～6	2施設2クール24名の臨地実習の指導を行った。また、併用して行われた遠隔実習のための教材を作成した。
2	老年看護学実習Ⅱ		2021.11～12	4クール計20名の学生の指導を担当した。感染対策をしながらも学生ができる限り実践できるように実習指導者等と調整を行った。
3	総合実習		2021.7～8	4名の学生の実習前後の指導を担当した。実習経験が少ないながらもその経験の意味づけできるように指導した。
4	IPW実習	○	2021.8と10	実習施設に協力を得た遠隔実習のための運営方法を検討した。6グループからなる地域担当として実習運営に携わった。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文		主指導 2名	副指導 0名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	八潮中央総合病院看護研究	八潮中央総合病院看護部	6部署の看護研究指導	2021.6～2022.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	看護人間工学会	第3回看護人間工学会学術集会事務局（会計担当）		2021.4～2021.11
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学生支援	1年生担任		2021.10～2022.3
2	学生支援	国家試験対策プロジェクト		2021.10～2022.3
3	学科等における委員会等	総合実習運営担当		2021.4～2022.3
4	学長指定プロジェクトへの関与	研究開発センターA2プロジェクトメンバー		2021.4～2022.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
	なし			